

令和6年度 調査業務指導者育成支援研修 実施結果について（お知らせ）

令和7年12月

独立行政法人工業所有権情報・研修館

当館で令和6年度に実施いたしました標記研修の実施結果について、以下のとおりお知らせいたします。

1. 研修概要

- （1）開催日：令和7年3月24日～25日
- （2）開催場所：1日目：非集合型（Teams等を用いたオンライン講義）
2日目：対面型（INPIT 虎ノ門ダイビルイースト）
- （3）受講証書交付人数：17名

2. アンケート結果

（1）研修の総合評価

非常に有意義だった	10名	59%
有意義だった	7名	41%
あまり有意義でなかった	0名	0%
有意義でなかった	0名	0%

（2）研修生からのコメント

- ・「個人的な意見を一方的に述べるだけでなく様々な機関の方の意見などが聞けて有意義でした。講師の先生の経験や知見も聞けて有意義でした。」（研修全体）
- ・「指導者として調査業務実施者からの相談に乗る際は、視野を広げ、提案の引き出しを増やしておくことが重要であるという点を心に留めておきたいと感じました。」（研修全体）
- ・「調査業務実施者育成研修や新人教育以来、整理した形で研修を受ける機会があまりなかったので再確認することが出来、良かった。」（審査基準）
- ・「主引例とする文献のパターンや、新規性ありと判断する可能性など、複数の可能性を検討可能なケースでのケーススタディができ、視野を広げることができました。」（進捗性判断のケーススタディ）
- ・「審査部との連携と今後の電子化の進展が今後の業務を行う点でとても参考になった。」（指導者に求められるマネジメント）
- ・「具体的な事例を挙げてのディスカッションであり、一度自ら検討することで、より深く理解し、今後に活かしていけると感じた。」（調査業務実施者指導演習）